

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センター及び虎の門病院分院腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2007年1月1日～2018年12月31日の間に、多発性嚢胞腎による腎不全のために虎の門病院腎センターあるいは虎の門病院分院腎センターに入院し、血液透析または腹膜透析を初めて開始された方

【研究課題名】

常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）患者の末期腎不全での腎容積の増大速度の研究

【研究の目的・背景】

《目的》

- ・ADPKD患者で末期腎不全に至る前後に、腎腫大の速度がどのように変化するのかを明確にすること
- ・ADPKD患者で透析導入後の腎容積の増大速度に影響する因子を調べること

《研究に至る背景》

ADPKDは最多の遺伝性腎疾患であり、本邦の人工透析患者のうち、約1万人がADPKD患者です。多様性のある疾患ですが、一般的な経過では、60歳までに多くのADPKD患者が末期腎不全に至るとされています。腎機能の低下とともに腎腫大が進行し、しかも腎不全の進行とともに加速度的に腎容積が増大することが知られています。しかし、末期腎不全（ESRD）に至った患者において、その後、腎腫大がどのように進行するのかはよく分かっていません。我々はこの研究で、ADPKD患者でESRDに至る前後に、腎腫大の速度がどのように変化するのかを明確にすることを目的にしました。また、透析導入後の腎容積の増大速度に影響する因子を調べることにしました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2019年6月3日～2023年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院及び虎の門病院分院共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センター、保管責任者 諏訪部達也、虎の門病院腎センター、保管責任者 関根章成のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

CT・MRI データ、血液検査データ、診療記録、薬歴、看護記録

【研究代表者】

虎の門病院分院腎センター 澤直樹

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院腎センター 澤直樹

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院腎センター 澤直樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 腎センター内科 諏訪部達也

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 腎センター内科 諏訪部達也

電話 044-877-5111(代表)